

教科	数学	科目(単位数)	数学Ⅰ(3)、数学A(1)、数学Ⅱ(1)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	(数学Ⅰ) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。(数学Ⅱ) 三角関数、指数関数・対数関数の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、2次関数との関連にも熟知させ、それらを活用する態度を育てる。実数の世界の「数の表現」を理解する。(数学A) 場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。						
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数Ⅰ 1章 数と式 数Ⅰ 3章 2次関数 (決定まで)	数式の計算の基本法則を理解し、高校数学の基礎的内容を身につける。 1次不等式及び2次方程式の必要性を知り、その解の意味を理解する。 2次関数についての理解を深め、それらを活用できるようにする。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	数Ⅰ 3章 2次関数 (続き) 数Ⅰ 2章 集合と命題	集合の表し方、部分集合、共通部分と和集合、補集合などについて、基本的な考え方を理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	数A 1章 場合の数と確率 数Ⅰ 5章 データの分析	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらの事象の考察に活用できるようになる。統計データからその特徴や法則性を調べ、データを数学的に考察し処理できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	数Ⅰ 4章 図形と計量 数Ⅱ 4章 三角関数	図形の計量の基本的な性質について理解し、計量の考え方の有用性を認識し、具体的に考察できるようにする。正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。角度を一般化して関数として捉える(弧度法の有用性)。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	数Ⅱ 4章 三角関数 数Ⅱ 5章 指数関数・対数関数	三角関数については、加法定理・2倍角の公式・合成など、関数としてのつながりを理解する。指数関数・対数関数については、実数の世界における「数の表現」として理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	数Ⅱ 1章 式と証明	式と証明について理解を深める。方程式の解を発展的に捉え、高次方程式を解くことができるようになる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副 教材)	教科書：「改訂版 高等学校数学Ⅰ・Ⅱ・A」（数研出版），副教材：「改訂版 教科書傍用スタンダードⅠ+A」，「改訂版 教科書傍用スタンダードⅡ」，「思考と戦略 New Action LEGEND 数学Ⅰ+A および 数学Ⅱ+B」						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (教科書の練習問題等を自分で解けるようになるまで取り組む。)						
評価方法	①考査 ②提出物 ③態度(課題に対する取り組み方・授業中の姿勢)						